

令和４年度第１回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和４年７月２８日（木）

午前１０時００分より

場 所 名張市防災センター 防災研修室 ３

出席者：（敬称略）

（１）委員

池田 守	（市民公募）
澤田 恭子	（市民公募）
古谷 久人	（地域づくり代表者会議副会長）
山根 秀生	（名張市身体障害者互助会事務局長）
勝木 祥文	（名張商工会議所総合商業部会長）
松本 幸正	（名城大学理工学部教授）
中平 恭之	（近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）
平岡 祐一	（三重交通株式会社伊賀営業所所長）
木谷 等	（代理出席、株式会社キタモリバス事業部）
米田 徹	（近畿日本鉄道名張駅駅長）
豊永 育子	（公益社団法人三重県バス協会）
尾上 義文	（三重交通労働組合伊賀支部支部長）
山村 典史	（名張警察署交通課課長）
前葉 光司	（国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）
松島 昇平	（代理出席、三重県地域連携部交通政策課主事）
松本 匡史	（伊賀建設事務所副所長）
中村 岳彦	（名張市副市長）
谷本 浩司	（名張市都市整備部部長）

（３）事務局

都市整備部都市計画室 ３名

会議の公開・非公開 ： 公開

傍 聴 人： ０名

協議案件 １	名張市地域公共交通連携協議会規約の改正について
協議案件 ２	令和３年度事業報告について
協議案件 ３	令和３年度収支決算について
協議案件 ４	事業進捗管理・評価について
協議案件 ５	令和４年度事業計画（案）について
協議案件 ６	令和４年度収支予算（案）について
協議案件 ７	「名張市地域公共交通計画」案の検討について

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事

協議案件 1 名張市地域公共交通連携協議会規約の改正について

(事務局より資料に基づき説明)

●質問、意見なし

審議結果：【承認】

協議案件 2 令和 3 年度事業報告について

(事務局より資料に基づき説明)

座 長 事業推進部会を中心に利用促進事業を行っていますが、昨年度はイベントがコロナで中止となっています。その代わりに新たな取り組みとしてコミュニティバスの紹介動画を作成しました。素晴らしい取り組みだと思っています。障害者手帳のミライロ ID も新たに行っており、時代に対応しデジタル化が進む中新しい取り組みも行っています。

委 員 デジタル化について、アンケート調査でも約半数の高齢の方はスマートフォンを使っており、今後も積極的にデジタル化を進めていきたいと思っています。ただ、紙媒体もいろいろな範囲で考えていきたいと思いますので、また皆様のご協力をお願いします。

座 長 対面で行うもの、ソーシャルメディアを活用するもの、利便性向上のため DX も進めていただくようにしたいと思います。高齢の方々でも電車、バスに乗っている方はスマホを持っているような印象がありますので、推奨していただければと思います。

協議案件 3 令和 3 年度収支決算について

(事務局により資料に基づき説明)

(古谷委員より監査報告)

●質問、意見なし

審議結果：【承認】

協議案件 4 事業進捗管理・評価について

(事務局により資料に基づき説明)

委 員 連携協議会の意見の中で運行本数や便数が少ないというのは以前からあり、検討もしているが、資金に限りがあり、限界を感じています。利用目的を通院や買い物に重きを置いていましたが、レジャーに着目して利用促進を図るという考えも出てきており、新たに地域の特徴を再確認する 1 つの機会にもなるかと思いますので、広い考えで今後も進めていきたいと思っています。

座 長 これまでは地域で困っている方の移動手段として頑張っていたいていましたが、視点を変えて地域に来ていただける手段としても使えるのではないかと、そして地域に来ていただくために地域の資源を地域の方々と一緒に整備し呼び込もうという戦略もあるのではないかとのお話でした。利用者数の減少の原因は、コロナ禍以外にも人口の減少、個人の行動の変容や福祉輸送の充実などがあると考えられており、今後も利用者数は元に戻らないと想定

し政策を立てていくべきである、という意見にまさに対応する方法になると思っています。地域発見にもつながると思うので、今のご意見を地域にお伝えいただき、地域おこしも含め外からのバス利用を目指していただければと思います。そのためには、そのバスが見える化されていることが重要で、GTFS が整備されていて検索できることが大事ですが、各バスは検索できますか。

事務局 現在、Google マップや経路検索サイトで全コミュニティバスの時刻、経路を掲載しています。GTFS もホームページ上でも公開しております。

座 長 今はコロナ禍で難しいかもしれませんが、インスタのスポットが出てきますと学生が来たりしますので、そういった効果を期待したいです。

委 員 はたっこ号についてですが、商業施設に乗り入れて便利になったと思いますが、実際は行きは11時に着き、帰りは14時でワンフロアの商業施設で3時間以上待つというのは現実的ではないので、せめて1時間くらいで帰りの便があれば助かります。

座 長 ダイヤを設定するうえでいろんな制約があり、すべての要望をかなえるのは難しいですが、それにしても行って帰ってこられる便は大変重要だと思います。大半の人は買い物や通院で使われます。通院は時間が読めないのである程度諦めてもいいかと思いますが、買い物は間違いなく午前中のうちに行って帰りたいというニーズが大きいので、これはマストかと思いますが、そういったところはどのようにダイヤ設定をしていますか。

事務局 コミュニティバスのダイヤの設定については、地域の方々に決めており、美旗地域に関しては色々な団地が点的ににありますので、それを回った後に買い物施設に行き、また2つのルートがあるので回り方や順番によって自分の行きたい時間に行くことが難しくなっていることがあるかと思います。いただいたご意見は協議会にもお伝えさせていただきます。

座 長 難しいかもしれませんが、行って帰ってくる便の確保についてしっかりと検討の題材にいただければと思います。

座 長 全体を通じて、令和3年というのは令和2年に比べ少し増えてきているというのが名張市以外の自治体も含めた大きな傾向かと思っています。ただ、令和元年と比べると8割程度の数字という印象です。ところが、コミュニティバスや三重交通などで令和3年度で上向いていないところがあり、心配です。コロナがきっかけで他の移動手段に移ってしまった、ご高齢の方がそのまま体調を崩してしまったといった可能性があるのではないかと思います。各コミュニティバスで経過観察しながら、原因を究明とはいかないかもしれませんが、何らかの手を打っていかなければならないと思います。

また、皆さんと一緒に立てた網形成計画で位置付けた事業の評価について、残念ながら計画の策定時と比べ市内の環境の変化もあり、手付かずの部分もありますが、次期計画にも反映していくということです。ほぼ計画通りに進んでいるかと思いますが、検討中のものは、ハード整備も伴うので、そういった評価になっているとご理解いただければと思います。

協議案件5 令和4年度事業計画（案）について

協議案件6 令和4年度収支予算（案）について

（事務局より資料に基づき説明）

- 座 長 今年は他の自治体でもイベントの実施が多いでしょうか。こういった状況になるかわかりませんが、やれるといいなと思います。事業報告にもありました桔梗が丘駅のベンチの設置、免許返納者への優遇措置の検討をぜひ具体的に進めていただき、実施していただければと思います。免許返納者に対する優遇は難しいのでしょうか。他市でも検討をしています但具体がありません。三重県は少ないのでしょうか。
- 事務局 事務局で把握している中では、複数の市町で免許返納者は運賃が割引、半額になるような取組をされています。
- 座 長 運賃に関してだけでなく、店舗等複合的な割引はないでしょうか。三重県さんご存知ですか。
- 委 員 市町が運営しているコミュニティバス、乗合タクシー等の割引、半額といった設定が主流化と思います。運賃以外のものは改めてお調べしてお伝えします。
- 座 長 自動車依存が進んでいるところで優遇措置を前面に出しても、というので遠慮がちになってしまうかもしれませんが、後押しになればと思います。今日名張駅からバスにりましたが高齡の男性も乗車しており、免許返納されたのだろうなと思い、確実に増えてきてるので、そういう方の生活が充実するような優遇措置があればと思います。三重交通さんは免許返納者に対して何かされていましたよね。
- 委 員 バスの運賃が半額になる、同乗の方の運賃も半額になるといったことはしておりますが、三重交通グループ全体でいろんなことができるかどうか開発中です。
- 座 長 タクシーはされていないですか。
- 事務局 名張市内ではされていません。
- 座 長 三重交通さんがされている返納者に対する優遇も計画の中に盛り込んでもらえると結構ですし、重要な実施の1つになるかと思いますので、今一度整理していただければと思います。市がやっているものだけでなく交通事業者がされていることも計画には含まれますので、積極的に位置付けていただければと思います。
- 委 員 事業推進部会でも言いましたが、利用環境整備について、バスの待合場所の確保をお願いしたところで、お金をかけない方法を考えてみました。例えば市役所のロビーや大型スーパーの待合スペース、桔梗が丘駅には近鉄系列の施設がありますので、そこを正式なバスの待合場所として確保すれば既存の利用者以外にもバス利用を促すことになると思います。施設にとってもついでに利用する人が増えるだろうし、バス利用者の数も増えると思います。ただ、防犯上の問題もあるので簡単にはいかないかもしれませんが、利用促進の面からぜひ考えていただきたいと思います。
- 座 長 バス待ち環境の改善について、熊本市はコンビニに協力をお願いして、バスを待っていて結構ですよという張り紙が貼ってあります。一部のコンビニではバスが来ると案内表示が出てきます。そういったものがスーパーやドラッグストアでもできたらということですが、いかがでしょうか。
- 事務局 大型の商業施設では休憩スペースを設けているところがあり、コミュニティバスが乗り入れていたり近くにあるところは時刻表を置いていただいています。正式にバスの待合場所とは書いていないので、事業者との連携も今後考えていけたらと思います。
- 座 長 現実、そういうスペースがあるなら勝手に待っていますよね。その時に何が気になるかとい

うとバスが来るか来ないかということで、案内の表示があればいいのですが機材の導入に費用がかかり簡単にはいきません。第一歩として、待てるような環境を提供し、拡大していくというのが大事で、いずれ DX が拡大が進んでくるとバスが来ますといった案内もできるといいと思います。今、三重交通のバスは Wi-Fi を積んでいますか。

委 員 東京方面の長距離、名古屋方面の中距離は積んでいますが、一般路線は積んでおりません。
座 長 Wi-Fi を積んでいれば待合所でキャッチするような仕組みを作れば、案内ができます。今後技術の進展とともに変わっていくので楽しみにしたいです。

委 員 事業計画には書かれていませんが、名張市でアンケートを実施したので、その解析を今年度から近大高専の研究室で行い、問題点を把握していくというものと、どこかの地域をモデルとし、再編の糸口をつかむことができればと、市と話をしており、会議の場でも報告できればと思います。

座 長 先生と学生さんの力をお借りしながらアンケートの分析、モデル地域での再編の検討などしていただくということで、是非お願いしたいと思います。

事業の内容、予算についてはご承認いただくものとなっておりますが、いかがでしょうか。

一 同 異議なし

審議結果：【承認】

協議案件 7 「名張市地域公共交通計画」案の検討について

(事務局より資料に基づき説明)

座 長 目標がふさわしいかどうか、目標達成のためにすること、さらにそれをどこがやるのかという実施主体に〇がついています。ここに位置付けたものは実施していただきますので、これでいいのかなど確認いただければと思います。

委 員 目標指標の中で確認中となっているところは今後数字が入っていくものですか。

事務局 令和3年度の数値を確認しているところです。わかり次第記入させていただき、毎年の確認事項として、こちらの会議で委員の皆様へ情報共有させていただくもので指標の中に入れております。

座 長 確認指標が急に出てくるので補足があるといいですね。

事務局 わかりました。

座 長 基本方針の3つのうち、1つ目はサービス提供、ハード面だと思っています。2つ目はできたものをわかりやすく使ってもらうソフト面、3つ目が面白いと思いますが、みんなで考え一緒に支える未来へつなぐ仕組みづくりということで、今の時代既存の公共交通、交通事業者や行政だけではラストマイル問題などに対応しきれないので、地域が主導で考えていく共助の考え方だと思います。その中で、具体策に仕組みづくりというのが必ずしも見えないと思います。地域の方々が自分たちの交通を考えることができ、それを公共交通会議の中に位置づけながら実現していくという方策がここで示されると思っていましたが、ここにはありません。そのへんいかがでしょうか。

事務局 具体的な部分は書きにくいですが、ある地域ではバス停まで出てこれない方々をタクシー代の補助でサポートしようという検討をされており、事業推進部会では自転車で駅まで来て、

公共交通に乗り換えやすいような環境づくりなど、これから進めていく中で具体的に書けるようになればいいと考えております。

座 長 名張市では地域の方々が考えて、実行してきたという中で、今の時代に合わせたかたちで公共交通計画の中に位置づけ、他の地域でもそういったことがやりたいとなった時に、この計画を見てこうやって考えて実現ができるということがわかるといいと思います。他の自治体でも進んできており、少し遅れ気味になっているかもしれないので、今の時代に合わせたかたちで位置づけていただければと思います。

委 員 利用者が人口減少とともに減ってくる予測ですが、事業の中の需要に応じた適切なサービスの提供となり、鉄道やバスの事業者の経営判断になるかと思いますが、現状で今後廃止路線になるようなところはあるのでしょうか。そういったものが出てきたときに地域公共交通会議としてどう考え対応するのかというところが心配です。

事務局 現状事務局で把握しているのは、駅や路線ごとの利用者数であり、今後の方向性は近鉄や三重交通にお話を伺いながら密に連絡を取り、路線の変更などに対応していきたいと思っています。

どの公共交通も利用者が減少しており、廃線等も心配の材料になると思います。まずはそういったことにならないように、計画の中で工夫し地域の移動手段が改正されてもなくならないように進めていきたいと思っています。

座 長 計画内で交通手段の位置づけがあり、幹線に位置付けられる公共交通（民間路線）は交通事業者がサービス確保に向け、主体的な取組みを実施し、行政は幹線と接続する支線の運行支援や、幹線を含めた利用促進施策を展開するものとします、とあります。とは言え、事業には需要に応じた適正なサービスと書かれており、やむを得ないかもしれませんが、需要が少なければ減便もあり得るということになります。もっと踏み込めばこれを幹線として確保、維持といった書き方があると思いますが、それは言葉だけではなく必要なものも出てくるので簡単には書けないというのでこうなっていると思います。

委 員 三重県内の各地で新たなモビリティの実証運行がされています。名張市においても実証実験の予定があるのでしょうか。

事務局 現状では具体的なものはありませんが、グリーンスローモビリティなどを想定し、検討していきたいと思っています。

座 長 計画の策定でぜひ決断をいただき、やるとしてください。事業で検討と書かれていますが、検討は事業にあたらないと思いますので、結果としてできないこともあります、思いとしてやるとしていただきたいので、「導入」などとしてはどうでしょうか。また庁内で検討していただけたらと思います。

委 員 これから利用する人について、買い物、病院、銀行が主な目的だと思います。今、携帯電話が普及し、60歳くらいの方はインターネットや通販を使って買い物することができます。ご飯も宅配ができたり、そこまで外に出なくてもライフスタイルとして成り立ってきています。ただ、コミュニティバスなどを必要としている方は絶対いますので、利用者が減ったので本数を減らすというのも考え物だなと思います。名張市のような自治体は全国にあると思いますが、他の自治体ではどうしているのか等情報収集はされていますか。

- 事務局 各地域で利用者が減少する中で、持続可能な工夫、レジャー目的など従来の利用者以外で補っていくようなことも考えています。他の自治体との連絡としては、コミュニティバスが乗り入れている他市とは連絡を取っており、運行の中でも連携を取っております。
- 座 長 皆のご心配は、利用者が減っていき、減便していつこのままだと全部なくなってしまうのではないかとことです。最後は市が確保するのか、地域にお任せして地域のニーズを市が支えるのか、ということが見えない。唯一地域交通はサービス水準の維持すると書かれていますので、非常に需要が少なくなったところでもそれに応じたサービスは維持する姿勢が見えます。路線バス等はそれがありません。それがまさに基本方針3のみんなで考え、一緒に支える、未来へつなぐ仕組みづくりのはずです。ただ、これからは共助の時代でそのための方策がここに位置づけられています。すべてを市が担うのではなく、地域が考えてくれればそれを支えますというのが見えてくるといいと思います。
- 委 員 観光という視点で、必要性を高めたかどうかと考えると、コミュニティバスのホームページ上の路線図を見た中で、ほっとバス錦はルート上の史跡なども書かれており、カラーになっています。ところが他を見るとモノクロで何も紹介されていません。これはどこが作っていて、なぜ差があるのでしょうか。
- 事務局 時刻表について、市で運営しているナッキー号、あららぎ号については市が作成し、地域コミュニティバスは地域で作成しております。
- 委 員 先ほどのトレッキングなどでもこういったものがあれば、おそらく名張在住の方でも知らないところもあると思いますので、バス停に沿った地域の案内があれば行ってみようとなるかと思います。地域以外の方の利用はこれからの方向性として大切だと思います。また、地域に任せず名張市で運行表を作っていけば利用者を取り込めるのではないかと思います。ぜひご検討ください。
- 事務局 各コミュニティバスのレジャー目的の利用については市からもPRできたらと思っており、そういった内容のブログもございましたので、活用を検討し、実際の市民の方の目に触れるようにしていきたいと思います。
- 委 員 私が申し上げたのは、それぞれではなく同じ運行図を作成し、統一化してほっとバス錦のようなものを市で作成すれば、ということです。
- 座 長 連携協議会場でほっとバス錦の運行図を参考にいただきながら、観光の情報を載せてください、市もお手伝いをして同じようなかたちで出てくるといいと思います。地域の特性もありますので、全部を市がする必要もないと思いますが、いいところは取り入れる発想は大事だと思います。観光の事業は最後に位置づけられていますが、これからは観光で持続可能を目指すんだぐらいの意気込みがあってもいいかもしれません。一方で観光と地域の生活が両立できるように、地域で話し合っただけだと思います。今回の公共交通計画は暗い話題が多いですが、観光は明るい話題かなと思いますので、もう少し目立たせることが必要かなと思います。
- 委 員 細かいところで、また全体を通してチェックされると思いますが、文字の誤りがあります。また、スケジュールの中で地域代表者会議への説明会がありますが、地域への説明は代表者からいろいろな意見が出てくると思いますので、パブリックコメントと同時か早めにしてほ

しいと思います。

事務局 代表者会議が12月にあると聞いております。パブリックコメントの実施時期がどうなるかまだ分かりませんが、四役をはじめ地域の方々に浸透するように進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

座 長 パブリックコメントと地域代表者会議の意見を同等に扱っていただいて必要な修正はしていただくというのでよろしいですね。

ご意見をいただきありがとうございます。まだ修正の時間の余裕があるかと思います。施策や目標、構成等お気づきの点がありましたらお盆休み前までに事務局の方へ直接お伝えください。本日出たご意見をもとに修正につなげていただければと思います。それでは、皆さまのご協力ありがとうございました。

事務局 長時間に渡りご審議いただきありがとうございました。いただいたご意見は今年度の事業や公共交通計画にも反映させていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。